

—ダイダイ—



▲ 橙皮(トウヒ)



▲ 枳実(キジツ)



▲ 枳殻(キコク)

ダイダイ: 東京理科大学 植物園(2022/05/18 撮影)
各種生薬: 東京理科大学 生薬標本室(2022/05/30 撮影)

学名: *Citrus aurantium* var. *daidai* Makino

科名: ミカン科(Rutaceae)

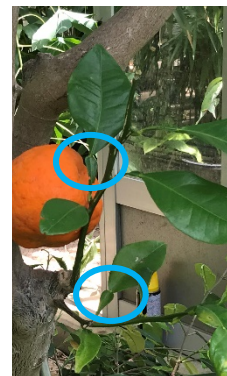
属名: ミカン属(Citrus)

産地: 北インド、ヒマラヤ原産であり、中国を経て日本に渡来した。

形態: 常緑高木。葉は単身複葉(右図参照)で互生し、有柄。葉身は卵形、鋭頭で油点を持つ。

液果は球形で、初めは緑色、秋に橙黄色になる。果皮は苦味、果肉は強い酸味がある。

用途: 芳香性苦味健胃薬



生薬として: 部位、収穫時期によって、枳実、枳殻、橙皮の3種類の生薬が存在する。

生薬名	薬用部位	性状	成分	漢方処方
枳実(キジツ)	未熟果実	径1-2cmの球形、又は 径1.5-4.5cmの半球形	精油: <i>d</i> -limonene フラボノイド: hesperidin, naringin クマリン: auraptene	四逆散 大柴胡湯 参蘇飲
枳殻(キコク)	(完熟直前の) 未熟果実	径3-5cm程度のもの	芳香族アミン: synephrine	など27処方に配合(※)
橙皮(トウヒ)	成熟果皮	厚さ約2mmの 不揃いな果皮片	精油: <i>d</i> -limonene フラボノイド: hesperidin, naringin 苦味成分: limonin, obakunone, nomilin 芳香族アミン: synephrine	苦味チンキ トウヒシロップ トウヒチンキ などの製剤原料* *一般用漢方製剤には配合されていない

■ 名の由来: 果実を収穫せず放置すると、次の年に昨年の果実が枝に残っていることがある。このように「代々」年を越して樹上に残る様から、「ダイダイ」となった。「代々繁栄するように」と願いを込めて正月飾りとして用いられる。

■ 枳実と枳殻の使い分け(※): 厳密な使い分けはなされておらず、枳殻は日本薬局方未収載である。枳実に比べ枳殻は作用が緩やかである、という説もあり、虚証の患者に対し枳殻を用いることもある。

一般用漢方処方 294 処方中枳実として配合されている処方: 四逆散、大柴胡湯など 27 処方。枳実、枳殻いずれかを配合されている処方: 荊芥連翹湯など 5 処方。枳殻として配合されている処方: 烏薬順気散 1 処方。

参蘇飲…体力虚弱(虚証)で、胃腸が弱く風邪が長引いている人向き

参考文献:

- 『新訂生薬学 改訂第8版増補』木村孟淳、酒井英二、牧野利明 南江堂
- 『カラーグラフィック 薬用植物 第4版』北中進、寺林進、高野昭人 廣川書店
- 『生薬単 改訂第2版』原島広至 NTS
- 『漢方 294 処方生薬解説第2版』根本幸夫監修 じほう
- 「ダイダイ」武田薬品工業株式会社京都薬用植物園 <<https://www.takeda.co.jp/kyoto/area/plantno194.html>>
- 「生薬の玉手箱 | 枳実と枳殻」ウチダ和漢薬 <<https://www.uchidawakanyaku.co.jp/kampo/tamatebako/shoyaku.html?page=017>>